

24年秋向け 無料公開セミナー資料

IT系国家資格(基本情報・ITパスポート) W合格学習法

ITスキルを公的に証明する資格

情報処理技術者試験はIT系資格の中で唯一の「国家試験（経済産業省認定）」です。

情報処理技術者試験について

※ IPA 情報処理技術者試験センターHP より引用
<http://www.jitec.ipa.go.jp/index.html>

【試験の概要】

情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」の水準がある程度以上であることを認定している国家試験です。

情報システムを構築・運用する「技術者」から情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、ITに関係するすべての人に活用いただける試験として実施しています。特定の製品やソフトウェアに関する試験ではなく、情報技術の背景として知るべき原理や基礎となる技能について、幅広い知識を総合的に評価しています。

【試験の目的】

- ・ 情報処理技術者に目標を示し、刺激を与えることによって、その技術の向上に資すること。
- ・ 情報処理技術者として備えるべき能力についての水準を示すことにより、学校教育、職業教育、企業内教育等における教育の水準の確保に資すること。
- ・ 情報技術を利用する企業、官庁などが情報処理技術者の採用を行う際に役立つよう客観的な評価の尺度を提供し、これを通じて情報処理技術者の社会的地位の確立を図ること。

【情報処理技術者試験の構成】

※ 情報処理技術者試験は21年度春期より新しい試験制度で実施されています。

- ① 共通キャリア・スキルフレームワークに準拠した試験制度
- ② ベンダ側人材とユーザ側人材の一体化
- ③ 最新の技術動向を反映して出題範囲の抜本見直し
- ④ 高度試験とユーザ試験の整理・統合
- ⑤ 組込みシステムに関する知識・技能の重要性の拡大への対応



【出題形式】

(1) 午前試験

試験時間：2 時間 30 分

出題形式：マークシートで四肢択一 80 問，全問必須（100 点満点）

(2) 午後試験

試験時間：2 時間 30 分

出題形式：マークシートで多肢選択式，13 問中 7 問を解答(次表を参照)

【試験時間および分野別出題数】

試験区分	午前		午後	
	9:30～12:00 (150 分)		13:00～15:30 (150 分)	
	出題形式	解答数 出題数	出題形式	解答数 出題数
基本情報技術者 (FE)	多肢選択式 (四肢択一)	80 問 80 問	多肢選択式	7 問 13 問

【午後試験の分野別出題数】

分 野	問1～7	問 8	問 9～13
ハードウェア・ソフトウェア	○×4		
データベース			
ネットワーク			
情報セキュリティ			
データ構造とアルゴリズム		◎	
ソフトウェア設計 (旧 プログラム設計)	○		
ソフトウェア開発 (旧 プログラミング言語)			○×5
プロジェクトマネジメント	○		
IT サービスマネジメント			
システム戦略	○		
経営・関連法規			
出題数	7	1	5
解答数	5	1	1

◎は必須問題 ○は選択問題

(※) ソフトウェア開発分野は，C，COBOL，Java，CASLII，表計算の中から 1 問を選択

【配点および合格基準】

試験区分	午前		午後	
	問番号	配点割合	問番号	配点割合
基本情報技術者試験 (FE)			1～7	各 12 点
			8	20 点
	1～80	各 1.25 点	9～13	20 点

合格判定・・・午前・午後の両方とも基準点以上

合格基準点：午前・午後とも（満点 100 点中の 60%以上の正解）

全国合格率 24.7%(平成 23 年 特別試験)

【出題形式】

CBT(コンピュータを利用した試験)で受験。全国の試験会場で随時受験が可能です

試験時間：2時間 45分 (165分)

出題形式：CBT方式

合格判定：1000点満点のうち600点以上で合格(各分野30%以上の正答率が必要)

申込方法：ITパスポート試験の専用サイトから申込み

(クレジットカード決済・コンビニ決済・バウチャーチケットに対応)

【試験時間および分野別出題数】

試験区分	165分	
	出題形式	解答数 出題数
ITパスポート (IP)	多肢選択式 (四肢択一)	全100問(注) 小問形式 84問 中問形式 4問(1問につき4小問)

注) 総合評価は92問、分野別はスト系32問、マネ系23問、テク系37問で行い、残り8問は今後のIP試験で出題される問題を評価するために使われる。

【対外的な評価】

“システムの仕事に役立つ資格”を調査した「2012年版いる資格、いない資格」(ITpro掲載)によると、基本情報技術者はITベンダーの技術者が取得すべき資格の3位に(1位はプロジェクトマネージャ)、ITベンダーの営業担当者では2位に(1位はITパスポート)、また、ユーザ企業のシステム担当者が取得すべき資格の第1位にランキングされています。ITベンダーの人事担当者の多くが、技術者はもちろんのこと、営業担当者にも基本情報技術者を取得させたいと回答しており、システムを発注するユーザ企業においても、ニーズが高い資格であることがうかがえます。

【資格取得のメリット】

- (1) 情報処理技術者としてのスキルを有していることが公的に証明される。
(資格保有者が多い企業は、顧客から信頼される)
- (2) IT業界で活躍する方が、現在どのレベルの専門知識を有するかが立証される。
☆ 基本情報技術者は、共通キャリア・スキルフレームワークの「レベル2」に相当する資格です。
- (3) 上級資格受験のための基礎を習得できる。
- (4) 就職活動を行う上でのアピール材料となる。
- (5) 資格手当や一時金など報奨金制度、昇級条件、(学生さんなら)履修の単位や特待生など

情報処理技術者試験における出題内容(主要3分野)

- テクノロジ系：IT技術に関すること
コンピュータ構成要素(ハード、ソフト)・技術要素(データベース、ネットワーク、セキュリティ)・情報表現(様々なデータ表現法やアルゴリズムなど)・システム開発についての知識
- マネジメント系：IT管理に関すること
プロジェクトマネジメント・ITサービスマネジメント・システム監査についての知識
- ストラテジ系：IT利用に関すること
経営戦略・システム戦略・企業と法務についての知識

基本情報技術者試験・ITパスポート試験 W合格学習法

● ステップ1 基本情報技術者 午前試験の学習

午前試験免除制度を活用する
(認定講座を受講後に、修了試験に合格すると、1年間午前試験が免除)

- ・ 出題傾向を把握し効果的な学習を行いましょう。
 - 情報処理試験センターのシラバスに準拠した TAC 専門教材で学習する
- ・ 午前試験免除制度を利用すれば、修了試験合格後は午後試験の学習に集中できます。
また、本試験も午後試験のみ受験すればよいので、負担を減らした効率的な学習が可能。

● ステップ2 ITパスポート試験の学習

“半年間で2試験のW合格を目指す方”
基本情報技術者(レベル2)の午前対策を先行学習しているので、
ITパスポート試験(レベル1)の出題範囲もほとんど網羅できる

- ・ 小問は、基本情報技術者(レベル2)を先に学習しているので、
ITパスポート試験(レベル1)の出題範囲もほとんど網羅できる。
- ・ 中間対策は必要。
 - (効率よく)演習中心に対策
 - ex. オプション講座を利用「IP フォローパック(講義3時間×全2回+Webテスト付)」
- ・ ITパスポート試験は CBT 方式(コンピュータを利用した試験)なので、いつでも受験は可能ですが、“修了試験への向けての力試し”などのタイミングで受験されるなどすると目標が明確化されるのでよいでしょう。

● ステップ3 基本情報技術者 午後試験の学習

「午後の学習に集中、必修と選択分野を集中的に学習」
(効率よく&効果的に)

- ・ 必須問題の「アルゴリズム」・配点の高い「プログラミング言語」は必修
- ・ 午後の“選択問題” → 「選択する分野を中心に学習」
 - ポイント1: 原則として苦手な分野は選ばない。
 - ポイント2: メリハリをつける&効率よく、効果的に学習する
 - 午前対策を一通り終えてから午後選択に移った方が、成功率が高い
 - 午前の学習時から、分野&テーマを「メイン、サブ、保険」に分類し
 - メインは強力な得点源にする(午前学習時から詳しく学習しておく)
 - サブを得意分野にできるように育てる、少しでもメインに近づく
 - 保険は、余力を入れすぎない
- ・ 試験の“出題傾向” “解法ポイント”をつかむ → 「しっかり対策すれば、必ず合格できる」

● ステップ4 基本情報技術者 本試験の受験

「午前試験は免除、午後試験のみを受験」… 集中力・体力ともに有利

午前試験免除制度について（IPAの認定講座）

【午前試験免除制度】

情報処理技術者試験の実施団体である IPA（情報処理推進機構）の認定講座を受講して、修了認定の一定条件を満たした方は、1 年間、基本情報技術者試験の「午前試験」が免除される制度です。

TAC の基本情報技術者対策コースのうち

- ・ 午前対策本科生（教室講座・ビデオ(DVD)講座・Web 通信講座）
- ・ W本科生（教室講座・ビデオ(DVD)講座・Web 通信講座）

は、IPA の認定講座です。

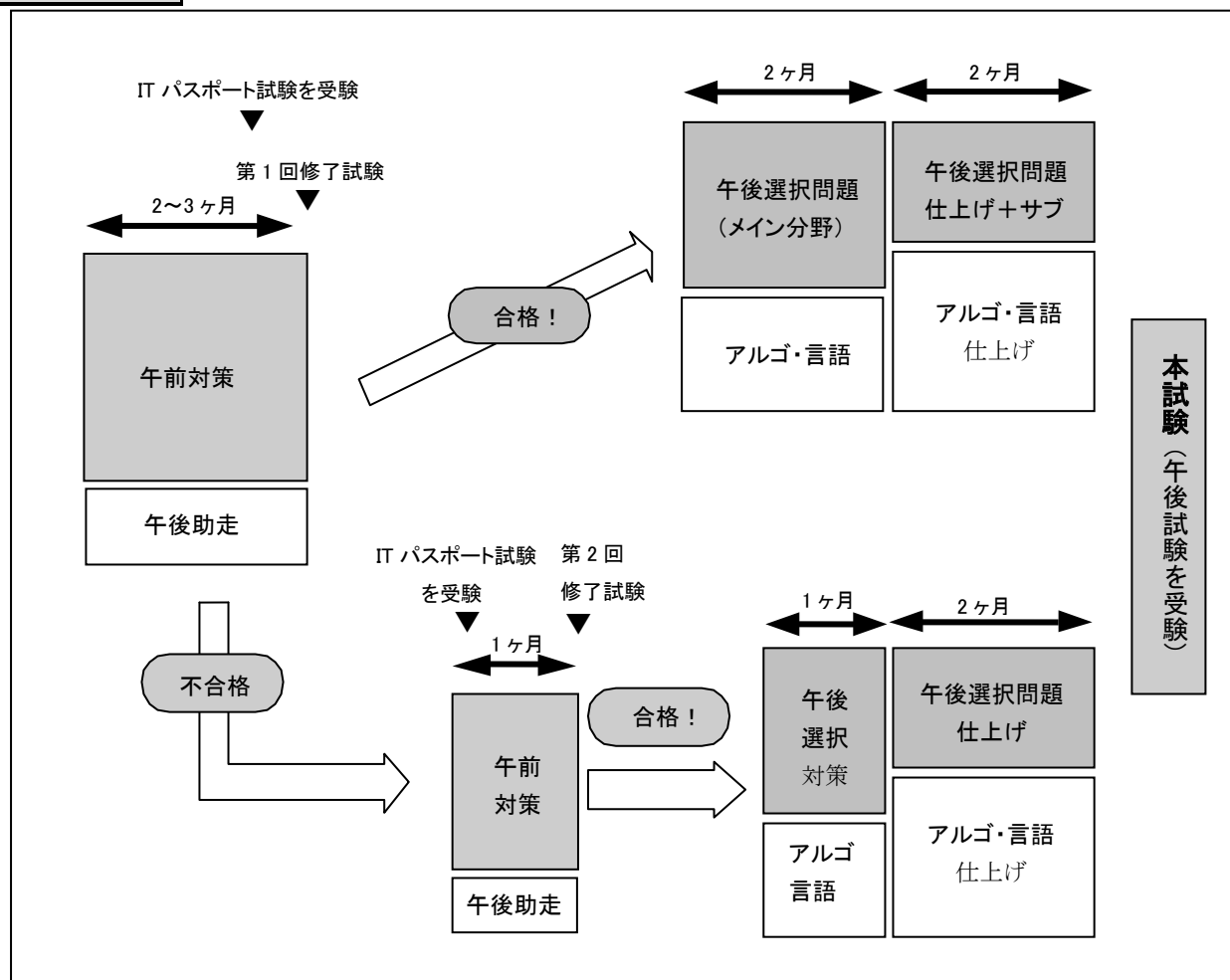
☆ 修了認定条件

- ・ 出席率 70%以上
- ・ 午前対策実力テスト 2 回を提出していること
- ・ IPA の修了試験に合格（修了試験は TAC で受験）
 - ※ 修了試験実施予定日 第 1 回：24 年 6 月 24 日（日）
 - 第 2 回：24 年 7 月 22 日（日）

ご注意）Web 通信講座で午前試験免除制度を利用する場合、「午前対策本科生」または「W 本科生」を 5/6（日）までにお申込みください。

TAC の午前試験免除認定講座については「情報処理講座パンフレット」をご請求ください。

学習計画の一例



基本情報技術者講座の進め方

● 午前対策講義【IPA 午前試験免除認定講座】(講義・演習)

午前対策講義では基本情報技術者の午前試験に必要な知識をテーマごとにインプット学習します。講義では毎回講師が丁寧に分かりやすく、合格のノウハウを皆さんに伝授いたします。毎回の講義がとても重要ですので、欠席のないように参加してください。午前演習では、午前対策講義で得た知識をベースに、既出問題を使用しながら演習を行います。

● 自己学習

講座で得た知識が結果に結びつくように、講義以外に“自己学習”も重要です。毎回の講義終了後は自宅で復習を行いましょう。また、午前対策実力テストの提出も必要です。

○ IT パスポート試験フォローパック講座 (オプション講座)

IT パスポート試験との W 合格を目標にしたオプション講座(DVD 講座)。IP 問題を掲載した冊子と 3 時間の講義が 2 回(演習中心)、さらに Web テストもついています。CBT 受験は各自でお申込み頂きますが、FE 修了試験前にチャレンジするなど、W 合格を目指してください。

● 修了試験 (24 年 6 月・24 年 7 月実施) 受験料:2000 円/回

午前対策講義で規定条件を満たされた方は「修了試験」を受験できます。この修了試験に合格された方は、本試験の午前試験が 1 年間免除されます。

● 午後対策講義(講義・演習)

午後対策講義では「アルゴリズム」や「プログラミング言語」の知識を習得して頂きます。午後演習では、午後の長文対策など、午後問題を解くためのポイントを講師がレクチャー、本試験に合格できるようにトレーニングを積んで頂きます。

● 公開模試 (会場受験の方は 24 年 9 月 16 日 実施)

本試験 1 ヶ月前で本番さながらの模擬試験を受験します。公開模試で合格点を取ることを、目標にして頑張りましょう。

合格のためのアドバイス

- ・ 毎回の講義を絶対に欠席しないこと。(＝出席率が良好な方ほど、合格率が高い)
- ・ 復習を中心とした自己学習をテキスト・問題集でしっかりおこなうこと。
- ・ 「継続は力なり」諦めないこと。
- ・ 本試験問題を数多く解きましょう。疑問点は講師に積極的に質問しましょう。
- ・ 試験勉強を生活のリズムの中に組み込みましょう。

プログラミング言語について

基本情報技術者の午後試験では「プログラミング言語」が出題されます。ご自身の学習目的にあったプログラミング言語を選択しましょう。

【プログラミング言語の種類・特徴】

名 称	特 徴	学習時間	過去の難易度
C 言語	システム記述からアプリケーション作成まで広く用いられる開発者向けの言語です。	やや多め	標準～やや難
COBOL	英文形式で命令を記述するため、理解しやすい事務処理用の言語ですが、現在ではやや古さを感じる面もあります。	普通	やや易～標準
Java	最新のオブジェクト指向型言語で広く利用されており、人気の高い言語です。多機能な反面、学習内容は多くなります。	多め	標準～やや難
アセンブラ CASL II	試験用のアセンブラ言語です。命令数が少なく、理解し易い言語ですが、試験用言語なので実務向きではありません。 初学者(開発系)向き。	やや少なめ	やや易～標準
表計算	試験唯一のユーザ向き言語です。身近で理解し易く、実務にも活かせます。 初学者(ユーザ系/文系出身者)向き。	少なめ	やや易～標準

※ 講座をお申し込みの際に、ご希望のプログラミング言語を1つお選び頂きます。

基本情報技術者試験の本試験問題にチャレンジ

● Q1 テクノロジ系の問題

フラッシュメモリに関する記述として、適切なものはどれか。(23 年秋 問 25)

- ア 高速に書き換えができ、CPU のキャッシュメモリなどに用いられる。
- イ 紫外線で全内容の消去ができる。
- ウ 周期的にデータの再書き込みが必要である。
- エ ブロック単位で電氣的に消去できる。

● Q2 マネジメント系の問題

表の機能と特性をもったプログラムのファンクションポイント値は幾らか。ここで、複雑さの補正係数は 0.75 である。(23 年秋 問 52)

ユーザファンクションタイプ	個数	重み付け係数
外部入力	1	4
外部出力	2	5
内部論理ファイル	1	10
外部インタフェースファイル	0	7
外部照会	0	4

ア 18 イ 24 ウ 30 エ 32

● Q3 ストラテジ系の問題

マーケティングミックスの説明はどれか。(23 年秋 問 69)

- ア 顧客市場をある基準で細分化し、その中から最も競争優位に立てる市場を選定すること
- イ 市場の成長率と自社の相対的市場のシェアの組合せから、各事業の位置づけを明確にし、それぞれの事業の今後の施策を検討すること
- ウ 製品戦略、価格戦略、チャネル戦略、プロモーション戦略などを適切に組み合わせて、自社製品を効果的に販売していくこと
- エ 導入期、成長期、成熟期、衰退期のそれぞれにおいて、市場や競合商品などとの関係を意識した、適切な施策を採っていくこと

TAC情報処理講座から皆さんへのメッセージ

セミナーはいかがでしたか？ 講座をお申込みの皆さん、これから一緒に「基本情報技術者試験」の合格を目指して一緒に頑張りましょう。

講師・スタッフ一同、皆さんの積極的なチャレンジを応援&サポートします。

解答 Q1 : エ Q2 : ア Q3 : ウ